

第3編

上位計画の整理

3.1 阿賀野市総合計画

策定年次：平成18年3月

目標年次：平成18年度～平成27年度

- ・総合計画では基本目標の一つとして「豊かな都市環境を創造するまち」を定めている。施策展開の方向のうち「快適な日常生活が送られるまち」では、施策体系の一つとして「公共交通機関の機能充実」を定めている。計画では公共交通の現状について以下のように示している。

【公共交通の現状】

- ・市民の身近な足として定着してきたが、停留所の配置や他交通機関とのアクセスを考慮したルート見直しなどが求められる。
- ・市内に3か所あるJR駅周辺は、通勤通学の時間帯に混み合い、車の流れが悪くなっている状況にある。駅前広場などの交通ターミナルの充実等を進める必要がある。
- ・磐越自動車道安田インターチェンジ内の高速バス「安田インター前」停留所では自家用車からの乗り換え利用者が年々増加している。駐車場拡充など利用者増加に対応した対策が求められる。

【施策内容】

(1) 市営バスの充実

- ・スクールバスとしての活用等ができるような市営バス運行の効率化を図る。
- ・JRや高速バスなどの関係機関等のダイヤ編成協議や増便の働きかけを行うことによる他の公共交通機関とのアクセス強化を図る。
- ・市営バスの停留所の位置、設置数など地域的に公平性を欠かないように住民の意見を聞き検討するとともに、乗降車の出入口などバス設備の整備を図る。

主要事業：市営バス運行事業
：生活交通確保対策事業

(2) JR駅前広場とその周辺道路の整備

- ・水原駅や神山駅の駅前広場整備や接続道路の整備について検討を進める。

主要事業：JR水原駅前広場整備計画検討事務
：JR神山駅交通網整備検討事務

(3) インターチェンジ周辺の整備

- ・磐越自動車道安田インターチェンジ周辺においてパークアンドバスライドの利便性を高める駐車場などの整備について検討を進める。

主要事業：安田インターチェンジ周辺整備検討事務

3.2 阿賀野市都市計画マスタープラン

策定年次：平成18年10月

目標年次：平成18年度～平成27年度

- ・都市計画マスタープランでは、都市整備の課題の一つとして「都市施設に関する課題」を定めており、その中で「公共交通機関の充実」を位置づけている。

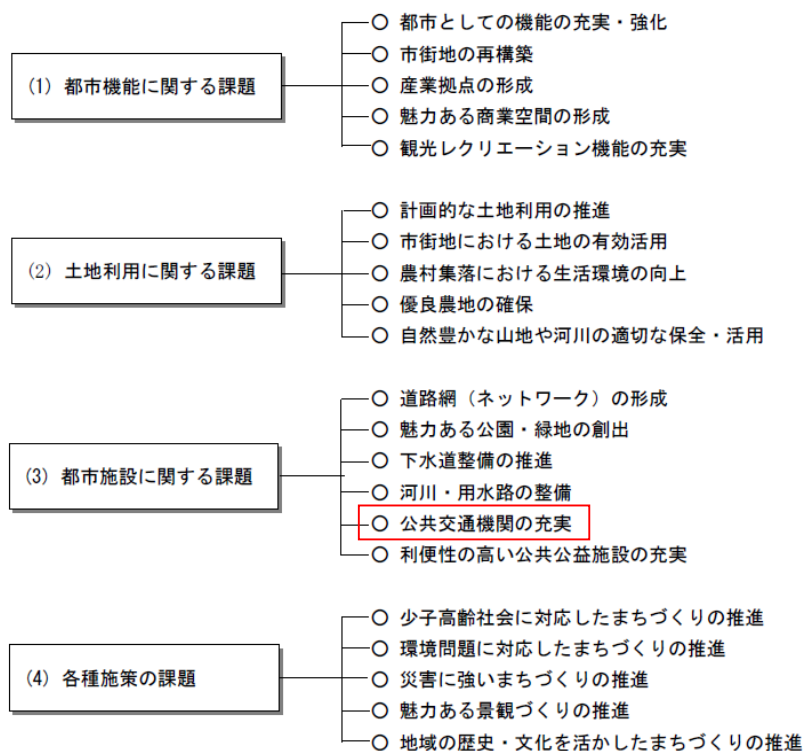


図 都市の整備課題(阿賀野市)

部門別整備方針における公共交通に関する方針

- ・交通体系に関する方針では、「地域間交流を活発にして都市を活性化することや、阿賀野市が都市として自立するためには、道路網の整備と併せ公共交通の利便性の向上が重要である。」としている。さらに個別の方針である「公共交通の充実と駅周辺環境の整備方針」では、

- (1) 鉄道施設の整備・強化
- (2) バス交通の利便性向上
- (3) パークアンドライドの機能維持・向上

の3方針が示されている。

(1) 鉄道施設の整備・強化

- ・新津経由新潟行等の直通運転化、新津・新発田間の列車の増加など、JRへの働きかけを行う。
- ・水原駅では、送迎のための一時停車に配慮した駅前広場の整備を行う。
- ・神山駅では、市民に親しまれやすい施設整備の在り方について検討を行う。

